

# 気高地域の小学校統合に関する取組について

令和5年（2023年）5月発行

発行：鳥取市教育委員会事務局校区審議室

## 気高地域の小学校の新設統合の基本方針が決定しました

### 鳥取市教育委員会の方針決定

鳥取市教育委員会では、気高地域の4つの小学校を統合し新たな小学校を整備するための基本方針について、以下のとおり決定しました。



北

- 1 宝木小学校、瑞穂小学校、浜村小学校及び逢坂小学校の4校は、1つの学校として新設統合する。新設する学校の種類は小学校（以下「新設統合小学校」という。）とする。
- 2 新設統合小学校の学校候補地を、JR浜村駅南側とする。



JR 浜村駅南側

西

東

鳥取市航空写真（R3）

南

写真：学校候補地周辺

### 方針決定の理由

#### 〈地域の思い〉

学校の設置位置について、令和3年3月に設置された気高地域学校統合準備委員会、令和4年11月に設置された関係者会議のいずれの会議においても、気高地域の教育及びまちづくりの視点から「JR浜村駅南側」に新規用地を取得し新しい学校づくりを進めていただきたいという内容の報告書を地域の総意としてまとめられました。

また、学校の種類について、気高地域学校統合準備委員会より「現段階では小学校のみの早期統合を望むが、将来的には義務教育学校への移行も視野に入れた取組をお願いしたい。」との内容の報告書が提出されました。それを受けて関係者会議でも、学校統合準備委員会での議論を尊重し、将来的な義務教育学校への移行を視野に入れて検討がなされました。

#### 〈気高地域ならではのまちづくり〉

JR浜村駅や気高町総合支所周辺を中心としたエリアには気高町コミュニティセンター、ゆうゆう健康館けたか、気高町総合福祉センター、気高町農業者トレーニングセンターなど多様な公共施設が集まっており、まさに気高エリアの地域生活拠点といえます。こうした地域生活拠点の周辺に位置する「JR浜村駅南側」では、近年鳥取西道路の開通にともない道の駅や商業施設が進出し、人の流れや賑わいがこのエリアに集積し、今後さらに賑わいが増すものと考えられています。

JR浜村駅南側での新たな学校づくりによって地域生活拠点の更なる機能の充実・強化を図ることで、気高地域の個性を活かした「教育・文化のまちづくり」を推進し、創造的で魅力ある地域の発展をめざします。

#### 〈交通アクセス〉 〈将来的な土地拡充〉

学校候補地は、JR浜村駅、総合支所、道の駅及び鳥取西道路のインターチェンジからもアクセスしやすく、将来的な義務教育学校への移行も視野に入れると土地の確保についても必要に応じて対応していけるものと考えられます。



◀関連資料はこちらから

#### 【問い合わせ先】

校区審議室 電話：0857 - 30 - 8405

E-mail：kokushingi@city.tottori.lg.jp

気高町総合支所 電話 0857 - 82 - 0011

E-mail：kt-chiiki@city.tottori.lg.jp

鳥取市公式ホームページ

（気高地域の学校統合に関する取組等について）

## これまでの主な経緯

気高地域の学校統合の主な経緯は、次のとおりです。

平成29年8月 逢坂の教育を考える会より「新設統合」の要望書が出される。  
令和2年 宝木、瑞穂、浜村 各地区より同様の要望書が出される。  
令和2年9月 第14期校区審議会より「宝木小学校、瑞穂小学校、浜村小学校及び逢坂小学校の4校は、気高地域の中長期的な姿を見据え、新設統合する。」の答申が出される。  
令和2年12月 教育委員会は、気高中学校区の小学校のあり方についての基本方針を決定する。  
令和3年3月 気高地域学校統合準備委員会(前期)を設置し協議を開始する。

### 〈統合準備委員会〉

地域、保護者、学校関係者など19名の委員からなる準備委員会の中で、学校の種類、設置位置、中長期的な姿を見据えた統合の方法等について議論される。



令和4年2月 気高地域学校統合準備委員会(前期)より検討結果及び報告書が提出される。  
令和4年4月 庁内検討会を設置し協議を開始する。  
令和4年11月 関係者会議を設置し協議を開始する。

### 〈関係者会議〉

庁内検討会でまとめた内容等について協議をしていただき気高地域の「まちづくり」を踏まえた意見をいただくため、気高地域振興会議委員と保護者代表等を中心とする19名からなる「気高地域学校統合に関する関係者会議」を立ち上げ議論される。



令和4年12月 関係者会議より「気高地域のまちづくりを見据えた統合新設校の設置場所等に関する意見について」が教育委員会へ報告される。

令和5年4月 教育委員会は、気高地域の小学校の新設統合の基本方針を決定する。

## 学校候補地の事前調査について

統合準備委員会や関係者会議等でも学校候補地の安全については議論いただいておりますが、以下のように対応し安全性を確保していくとともに、保護者、地域住民の皆さまの不安解消を図りながら検討してまいります。

### 〈学校候補地周辺の現状〉



県の策定した「鳥取方式」洪水浸水リスク図において想定浸水深は0~30cmとされていますが、今後予定されている県事業や用地造成等で対応することにより、浸水リスクが軽減されることが想定されています。

県の津波浸水想定区域も参考とし作成された本市の防災マップでは、浜村駅南側は津波基準水位の対象となっておらず、安全性の確保されている場所となっています。

### 〈今後の取組内容〉



今後は、用地造成、学校施設整備に伴う課題等を整理・検討し、整備計画に反映させていく必要があるため、測量・地質調査や予備設計などの事前調査を実施する方針です。事前調査の結果、学校候補地として適地となれば、新設統合小学校の位置として決定し、用地取得に向けて取り組みます。その後に、用地造成等を行います。このことにより浸水等の心配はより軽減されるものと考えています。